

第3回愛西市巡回バス運行検討委員会にて確認された事項

・ 現行のバスを有料化へ移行すべきかどうかについて

有料化の条件となる車両変更やバス停設置、委託費用などを含め、現状の運行形態のまま有料化すると、現在の倍以上の経費がかかる計算になるため、現時点の有料化は難しい。

・ 運行目的の位置付け(公共交通・福祉目的)について

福祉にも重点をおいた公共交通バス（市民の足）として継続させる。

・ 運行形態について

運行時間帯について

現状では福祉目的要素が強いので、通勤・通学の方については特に考慮せずに現状の時間帯のままとする。

ルートについて

高齢化により車に乗れない人も増えてくることが予想されるので、現在利用者が少ないところについても現行のルートを継続していく。

運行台数について

費用のことを考慮し、現状の台数のままとする。

バス停について

基本的に各地域に一つは設置されており、利用が少なくとも直ちに減らすということはずせず、位置なども含め地元と協議のうえ検討していく。

他市への乗り入れについて

特に津島駅と津島市民病院への乗り入れ要望が多くあるため、特に津島市への乗り入れを中心に検討する。